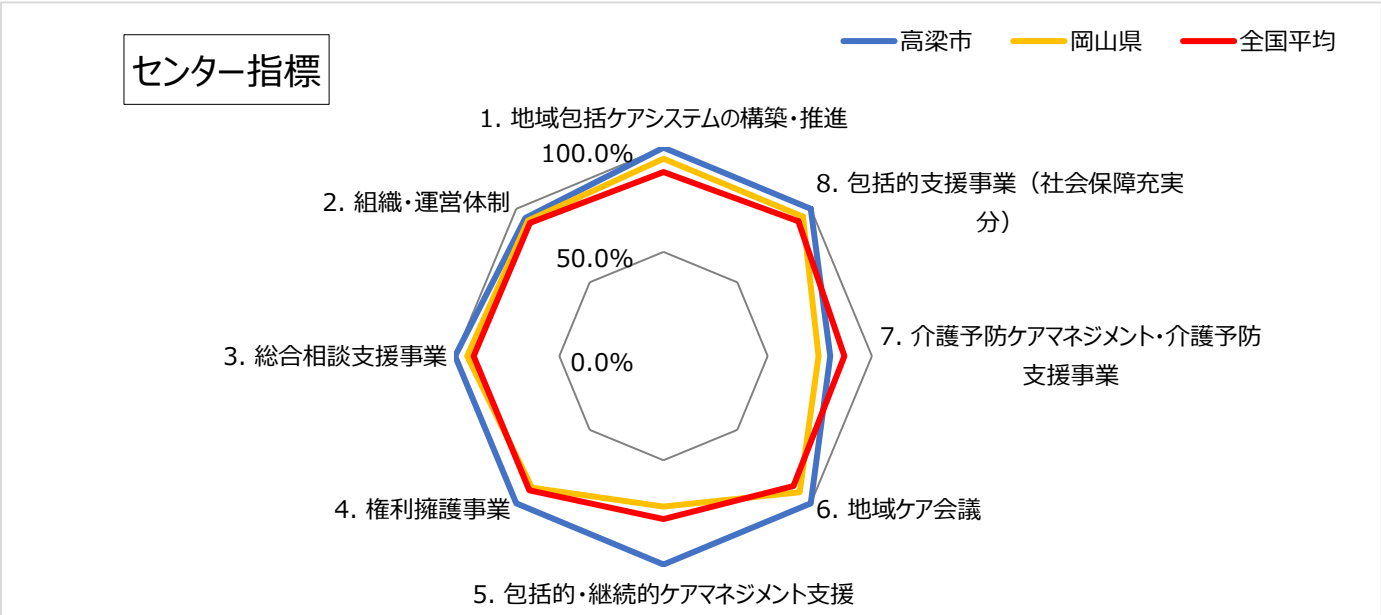


(1)市地域包括支援センターの運営状況(令和7年度調査分)



※地域包括支援センターの事業にかかる評価指標と概要

	評価分野	概 要
1	地域包括ケアシステムの構築・推進（4項目）	地域の高齢者の実態やニーズ、将来予測を把握し、地域課題を分析しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域包括ケアシステムの構築・推進を図ることができているか評価するもの
2	組織運営体制等（15項目）	地域包括支援センターが効果的・効率的に機能するよう、事業計画の策定や業務改善、人材育成、個人情報保護など、適切な組織運営体制が整備できているか評価するもの
3	総合相談支援（15項目）	高齢者や家族からの相談を受け止める体制を整えるとともに、関係機関とのネットワークを構築し、複合的な課題や家族介護者支援にも対応する総合的な相談支援を行う事業ができているか評価するもの
4	権利擁護（5項目）	高齢者の権利や尊厳を守るため、成年後見制度の活用支援や高齢者虐待への対応、消費者被害防止などの取組を行う事業ができているか評価するもの
5	包括的・継続的ケアマネジメント支援（8項目）	地域の介護支援専門員（ケアマネジャー）が円滑に業務を行えるよう、相談支援や研修、多職種連携の場づくりを通じて支援するとともに、介護予防ケアプランの質の向上を図る取組ができているか評価するもの
6	地域ケア会議（9項目）	個別事例の検討を通じて高齢者支援の充実を図るとともに、会議から見えてきた地域課題を整理・共有し、地域全体の課題解決につなげるための取組ができている評価するもの
7	介護予防ケアマネジメント、介護予防支援（4項目）	高齢者の自立支援や重度化防止を目的として、一人ひとりの状態や目標に応じた介護予防ケアプランを作成し、適切なサービスや地域資源につなぐ取組ができている評価するもの
8	包括的支援事業（社会保障充実分）（4項目）	在宅医療・介護連携、生活支援体制整備、認知症施策などの関係事業との連携を強化し、高齢者を地域全体で支える体制づくりを進める取組ができている評価するもの